



本気の積み重ねが大きな力に

長い夏休みが終わり、学校に子どもたちの明るい笑顔と元気な声が戻ってきました。久しぶりに会った子どもたちの表情には、夏休みを通して少し大人になったような頼もしさも感じられます。こうして子どもたちとともに2学期をスタートできることを大変うれしく思います。

2学期は、学習や運動、さまざまな学校行事、友達との関わりなどを通して、子どもたちが大きく成長する学期です。始業式では、子どもたちに大切にしてほしい言葉として、「本気」という言葉を贈りました。勉強するときも、遊ぶとき



も、掃除をするときも、友達と関わるときも、一つひとつのことに本気で向き合ってほしいと思います。

もちろん、いつも上手にできるとは限りません。本気で頑張っても失敗することもあるでしょう。思い通りにならず、悔しい思いをすることもあるでしょう。でも、大切なのは「できたか、できなかったか」だけではありません。自分なりに精一杯取り組んだかどうかです。本気で取り組むからこそ、「もう少しできるようになりたい」「次は頑張ろう」という思いが生まれます。そして、その小さな挑戦の積み重ねが、一人ひとりを大きく成長させてくれます。

そして、何事にも本気で取り組むためには、毎日の生活習慣を整えることが何より大切です。「早寝・早起きをする」「朝ごはんをしっかり食べる」「時間を守る」「元気に挨拶をする」「使った物を片付ける」「持ち物を整える」こうした一見当たり前に思えることを、毎日続けることが、自分の心と体を整え、学校で力を発揮し、成長するための大きな土台となります。「特別な一日を頑張る」のではなく、「当たり前の一日を大切にする」その積み重ねが、やがて大きな力になります。子どもたちには、2学期の終わりに「頑張ってよかった」「あのとき本気で取り組んでよかった」と思える経験をたくさんしてほしいと願っています。

私たち教職員も、子どもたち一人ひとりの「本気」に寄り添い、その頑張りを認め、励まし、支えていきます。そして、子どもたちが安心して挑戦できる学校、互いを認め合える学校をみんなでつくっていききたいと思います。

保護者の皆様にも、日々の生活リズムを整えることや、子どもたちの「やってみよう」「頑張ろう」という気持ちを温かく見守っていただきたいと思います。結果だけを見ず、「やってみたね。」「頑張ったね。」と声をかけていただくことが、子どもたちの次の一歩につながります。今学期もご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。



創立150周年記念としてご寄贈いただきました

創立150周年記念実行委員会では、地域の皆様からお寄せいただいた寄付金は式典イベントの運営とともに、学校の教育活動のために放送用アンプ式、グローブ、パズルボードゲーム「ウボンゴ」(右写真)の寄贈にもご活用していただきました。

ご協力いただきました地域の皆様、そしてご尽力いただいた創立150周年記念実行委員会の皆様に、心より感謝申し上げます。

ご寄贈いただいた品々は、子どもたちの学校生活の充実のため、大切に活用させていただきます。誠にありがとうございました。



「歯と口の健康」について学びます ～咀嚼教室～

全校児童を対象に歯科衛生士さんによる歯と口の健康に関する授業「咀嚼教室」を9月10日に行います。

食べ物をよくかんで食べることは、歯や口の健康を守るだけでなく、消化を助けたり、脳の働きを活発にしたりするなど、健康な生活を送るために大切なことです。

咀嚼教室では、実際にかむ体験などを通して、咀嚼することの大切さについて理解を深め、日頃からよくかんで食べることを意識するきっかけにしていきます。



加太地区敬老会の皆様へ ～心を込めたビデオメッセージ～

加太地区敬老会の皆様へのお祝いのプレゼントとして、子どもたちからお祝いメッセージや心を込めて歌った全校合唱をビデオメッセージにして送ります。

いつも地域で温かく子どもたちを見守ってくださっている皆様に、「いつまでもお元気でいてください」「これからもよろしくお願いします」という思いを込めて、元気いっぱいのメッセージを届けたいと思います。子どもたちにとっても、地域の皆様への感謝の気持ちを伝え、世代を超えたつながりを大切にする機会となることを願っています。



子どもたちが夏休みに取り組んだ工作や自由研究などの作品を展示します。是非ご覧ください。

【日時】令和8年9月2日(水)～4日(金)8:30～16:00

【場所】家庭科室

<お知らせとお願い>

○ 9月30日(水)は、教職員研修会のため、給食を食べた後、12時20分下校(下加太地区バス12時30分、上加太地区下校指導)となります。ご理解とご協力をお願いします。